

庄内こどもの杜幼稚園 年長組 劇あそび会 杜のお手伝い隊の様子 ①

12月1日(木)

平成28年度 12月5日

今年度最後の行事「劇あそび会」のお手伝い隊が始まりました。

劇あそび会がより良くなるために 様々なことを考えていきます!

道具グループ

保護者と下の子グループ

司会グループ

どうくグループ

一回目の活動では、今後の活動内容の確認をしました。「みんなの為に」「より良くなる為に」と園全体のことを考えました。活動に取り組む子どもたちは、やる気や集中力がとてもあり、積極的に話し合っていました。始めは、昨年度の年長児がやっていた活動を思い出しながら発言していた子どもたちも、実際に舞台を見たリしているうちに、徐々にアイデアが出てきました。「練習の時に誰も使える道具を作ろう」という発言から、次回から大道具作りをすることになり、どんな道具を作るかを話し合いました。さすがにイメージだけではどんな物か「わからなかった」と様々な絵本を共通している物探し。「木」「草」「岩」「海」「切り株」「家」「ドア」など様々なストーリーで使える共通の物を見つけることが出来ました。どんどんアイデアが浮かぶ子どもたちは「ダンボールで作ろう」「ペットボトルで木を作ろう」とどんな材料を使うかなども話し合っていました。次回は「ペットボトルを使ってどうやって木に見えるか」をテーマに進めていきます。劇あそび会当日もかっこいい道具グループが作った作品が登場するかもしれません。ぜひ今後の活動に注目して頂き、楽しみにして下さい! 塩館

話し合いスタート! 「おれくしやん」



立体のダンボールを使い、六面分の背景が作れる? 「いっほいかけるやん」「海と草と...」



でも後ろに人が立つと... 「見えにくいなー」「ひた組見えんやん」



保護者としたの子グループ

このグループは、子ども達が「年下の子どもがママのお手伝いをしたい」という声から出来ました。今日の活動では、グループの名前の確認と、仕事内容の確認、全9回の活動内容を確認しました。グループの名前は、はじめ「お母さんのお手伝い隊」という名前でしたが、子ども達が「お母さんお父さんおじいちゃんおばあちゃんやたら年下さんとかが入らんやん、お手伝い隊は全部お手伝いせん」と言ったり、「保護者とした子グループ」という名前になりました。仕事内容は、まず「年下の子どもを誘ってあげると年下の子どものお手伝いを考えました。その後は、保護者に対してのお手伝い(放送、案内、注意、ホールの飾り付け)などが出ました。下の写真にもありますが、話し合いは子ども達が進め、保育者は後ろから見守り、必要に応じて助言をしました。「何か意見はありますか?」「まだ何も言えないは言いたくさあせむから」と話を進める子ども達にと成長を感じました。その後は、全9回の活動内容を決めました。劇あそび会本番に向け、行事をより良くするための「お手伝い」を今後も子ども達が主となり考えていきたいです。 (岩崎)

仕事内容の確認では、司会書記も話し合いました。



全9回の活動内容確認しました。



司会グループ

第1回目の司会グループでは、まず子ども達の意見としてあげて、「しんぶん」とどういう風に作っていきなにか話し合いました。どんなことを載せたいか聞いていくと、「げきあそびがあること」「かきこい」「いっほいかきこい」「ちびやめんないをかいてどこかあるからいい」など色々な意見が出ました。その他には、「みんながわんしゅうしてるのがにやんにとてのせいらいいやん」とそれぞれの考えていることを発表してくれました。



その後、司会では、どんなことを言うのか聞いてみると、「ぶらぶら〇ばん、つぎは〇〇の〇〇の〇〇の〇〇」と答えています。



練習のやり方は、「まいくもってやる」「ことばをかみにかいてみてる」「いっほいわんしゅう」とどんな風にしたらいいか具体的な意見も出ました。次回の活動は、12/5(月)にありま。

劇あそび会のはじまりの楽器をどうするか? どんな楽器があるか? ということも子ども達に考えてもらい、お話し合っていく予定です。

比喜